

「さいたま商工会議所」
との経済交流会を初開催



北陸新幹線の福井県内開業を来年

3月16日に控える中、当所とさいたま商工会議所による初の経済交流会を8月2日にパレスホテル大宮（さいたま市大宮区）にて開催、17名が出席した。新幹線開業へ向け、北陸新幹線沿線地域の中でも利便性が高く結節点となっている「大宮駅」に着目し、商工会議所同士のネットワークを活用して今回企画した。新幹線開業で福井―大宮間の所要時間は30分以上短縮し乗換えなしで2時間28分と試算されている。当所からは八木誠一郎会頭、清水則明副会頭、吉田真士副会頭、池内明彦ふくいの魅力発掘・発信委員長らが出席し、

さいたま側からは池田一義会頭（埼玉りそな銀行シニアアドバイザー）らが出席した。

交流会で福井側からは、観光・産業・会議所交流の3つの分野で副会頭から説明、福井の魅力をPRしたほか、さいたま側からは人口が130万人を超えていることや、14歳以下の人口を中心に流入人口が7年連続日本一であることにも触れ、首都圏有数の大都市である点を強調し、同市の概要や立地メリットなどを紹介した。

さいたま商工会議所の池田会頭は、今年4月に福井を訪問したことに触れ、「自然あふれるまちで観光資源がたくさんあることを実感した。産業面なども充実し魅力的な地域で、さいたまに無い魅力が福井にはある」と今後のビジネスの広がり期待を寄せた。八木会頭は「これまで遠いイメージだった埼玉が、新幹線開業により今後もっと交流も促進させていくことで、互いの距離も意識も一層縮まる」と意欲を語った。なお、経済交流会の前には、さいたま市役所を表敬訪問し、清水勇人市長との懇談も行われた。